

1. 1970年に15歳未満割合が21.0%であった東京都は、2020年には高齢化率が33.9%となり、青森県よりも高齢化が進んでいる。

2. 1970年に15歳未満割合が21.0%であった青森県は、2020年には高齢化率が22.8%となり、東京都よりも高齢化が抑えられている。

3. 1970年に15歳未満割合が27.8%であった東京都は、2020年には高齢化率が33.9%となり、青森県よりも高齢化が進んでいる。

4. 1970年に15歳未満割合が27.8%と高かった青森県は、2020年には高齢化率が33.9%となり、東京都よりも高齢化が進んでいる。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 地熱発電	発電の源となる蒸気や熱水は火山活動に由来するため、全国一様に分布しているわけではなく、火山帯が位置する九州や東北に大きく偏っているのが特徴です。二酸化炭素の排出を抑える再生可能エネルギーとして、これらの地域で重要な役割を担っています。
問2	答え 2 100年以上の歴史があり、製造工程の主要な部分が熟練の職人による手作業である	伝統的工芸品は「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」に基づき、100年以上の歴史があること、主要な工程が手作業であること、日常生活で使われるものであることなどが指定の条件となっています。南部鉄器もこれらの条件を満たし、地域の特色ある産業として受け継がれています。
問3	答え 2 栃木県 → 福島県 → 宮城県 → 岩手県	東北新幹線は、東京都から埼玉県、栃木県を経て東北地方に入ります。東北地方の内部では、南から順に福島県、宮城県、岩手県を縦断し、終点の新青森駅がある青森県へと至るルートをとっています。山形県や秋田県へは、途中の福島駅や盛岡駅で分岐する路線（山形新幹線・秋田新幹線）が通っていますが、東北新幹線本線の通過県ではありません。
問4	答え 4 複雑に入り組んだ湾内は、周囲の地形によって外海からの波が遮られ非常に穏やかであり、養殖施設の設置に適しているから。	三陸海岸に代表されるリアス海岸は、入り江が深く入り組んでいるため、外海の荒波の影響を直接受けにくい構造になっています。養殖業ではいかだなどの設備を海面に浮かべる必要があるため、波が穏やかであることは必須条件です。この地理的条件を最大限に活用することで、岩手県や宮城県ではわかめなどの養殖業が全国屈指の規模となっています。選択肢にある「潮目」の説明は漁業全般の好条件ではありますが、養殖業が盛んである直接的な理由（波の穏やかさ）とは異なります。
問5	答え 3 冷涼な気候を活かしたリンゴ栽培などの果樹農業や、三方を海に囲まれた地理的条件を活かした水産業が地域経済の基盤となっている。	青森県は三方を海（日本海、太平洋、津軽海峡）に囲まれており、暖流と寒流が交わる好漁場に近いことから漁業生産量が多くなっています。また、やませの影響を受ける冷涼な気候はリンゴ栽培に適しており、これらの第1次産業が盛んなことが、統計における就業者割合の高さに直結しています。静岡県のような工業出荷額の大きさや、北海道のような圧倒的な面積による生産規模とは異なる、東北地方特有の産業構造を理解することが重要です。
問6	答え 1 湖を干拓して造成された広大で平坦な土地を活かし、計画的に入植が行われたため。	大潟村は干拓地であり、もともと水底だった場所を陸地にしたため、非常に平坦で広大な農地が確保できました。この土地条件を最大限に活用するため、最初から大型機械の導入を前提とした計画的な入植が行われました。その結果、全国の多くの地域で見られる小規模な兼業農家とは対照的な、高収益で効率的な大規模経営が実現しています。
問7	答え 4 東アジア	秋田県における外国人宿泊者の構成は、地理的に近い近隣諸国からの来訪者が中心となっています。特に韓国、台湾、中国といった地域は、秋田県の国際観光において極めて重要な市場となっており、これらを総称して東アジアと呼びます。
問8	答え 4 冬に吹く北西の季節風が山脈にぶつかることで、日本海側に雪をもたらし、太平洋側を乾燥させる原因となっている。	奥羽山脈は、冬の湿った北西季節風を遮る壁のような役割を果たしています。このため、風がぶつかる日本海側では世界的な豪雪地帯が形成される一方、山を越えた後の乾燥した空気が流れ込む太平洋側では、冬は晴天の日が多くなります。このように、山脈の存在が地域の気候特性を決定づける大きな要因となっています。
問9	答え 4 産物：りんご、要因：緯度が高く冷涼な気候が栽培に適しているため	青森県は緯度が高く、夏場でも比較的気温が上がりにくい冷涼な気候を有しており、これが果樹、特にりんごの生育に適しています。さくらんぼの生産量1位は山形県であり、中央高地の気候を利用したりんご栽培（生産量2位）は長野県の特徴です。また、ぶどうの生産量1位は山梨県であり、甲府盆地の扇状地などが主な産地として知られています。
問10	答え 1 リアス海岸 - やませ	東北地方の太平洋側に位置する三陸海岸などは、山地が沈水してきた「リアス海岸」と呼ばれる入り組んだ海岸線が特徴です。この地域では夏、オホーツク海高気圧から「やませ」と呼ばれる冷たく湿った北東の風が吹き込むことがあります。この風は気温の上昇を妨げ、寒冷な気候をもたらすため、稲作などに深刻な冷害を引き起こす原因となります。
問11	答え 3 耕地面積に占める田の割合	日本の耕地は大きく「田」と「畑」に分けられます。この両者を合わせた合計面積に対する水田の比率を算出することで、その地域がどれほど稲作に特化しているかを知ることができます。これは土地利用の特色を示す重要な指標となります。
問12	答え 4 1970年に15歳未満割合が27.8%と高かった青森県は、2020年には高齢化率が33.9%となり、東京都よりも高齢化が進んでいる。	1970年時点の青森県は15歳未満の割合が27.8%と東京都（21.0%）より高い状態でした。しかし、その後の人口移動や少子高齢化の影響により、2020年時点では青森県の高齢化率が33.9%となり、東京都（22.8%）を大幅に上回る結果となっています。

- 問1 東北地方の太平洋側では、6月から8月にかけてオホーツク海高気圧から冷たく湿った北東の風が吹き込み、気温が上がらず日照不足となることがあります。この地域の農業に大きな影響を与える風の名称を答えなさい。（2023年 徳島県公立入試 類似）
1. からっ風 2. やませ 3. 季節風 4. フェーン
- 問2 日本の地方区分と位置関係について、東北地方の南端に位置する福島県と陸地で隣接している2つの地方の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2025年 熊本県公立入試 類似）
1. 中部地方と近畿地方 2. 関東地方と近畿地方 3. 北海道地方と関東地方 4. 関東地方と中部地方
- 問3 東北地方の太平洋側では、夏にオホーツク海高気圧から冷たく湿った北東風が吹き込むことがあります。この風の名称と、それが農業に与える影響の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2026年 岡山県公立入試 類似）
1. 風の名称はフェーン現象であり、急激な気温の上昇によって農作物を枯らす原因となる。 2. 風の名称は季節風であり、山脈を越えて日本海側に大量の雨や雪をもたらす原因となる。 3. 風の名称はやませであり、気温が上がらないことで稲の生育を妨げる冷害の原因となる。 4. 風の名称はからっ風であり、乾燥した空気が続くことで畑作物の成長を止める原因となる。
- 問4 日本の地方別の統計において、米の農業生産額が全国の約四分の一（25パーセント以上）を占め、全国で最も高い割合を示している東北地方の農業の特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2024年 福井県公立入試 類似）
1. 都市への出荷に有利な立地を生かし、米よりも野菜や花の生産額が上回る近郊農業が中心となっている。 2. シラス台地が広がる地域を中心に、豚や鶏などの飼育が盛んな畜産中心の農業が展開されている。 3. 成長の早い米の品種を利用し、一年のうちに同じ土地で二回米を収穫する二期作が全域で行われている。 4. 庄内平野などの広大な平野において大規模な稲作が行われており、日本の穀倉地帯としての役割を果たしている。
- 問5 東北地方における各都市の気候の差異について述べた次の説明のうち、太平洋側に位置する仙台市の状況を正しく示しているものはどれですか。（2020年 新潟県公立入試 類似）
1. 冬の季節風が奥羽山脈を越えて吹き下ろす際、乾燥した空気となるため、日本海側の地域に比べて冬の降水量が少なくなる。 2. 季節風の影響をほとんど受けない盆地特有の気候であり、夏は非常に高温になる一方、冬は氷点下まで冷え込み、降水量は年間を通して一定である。 3. 北からの寒流である親潮の影響を強く受け、一月の平均気温が零度を大きく下回り、夏も二十度を越えない日が続く。 4. 日本海を渡る湿った季節風が直接吹き込むため、一月の平均気温が零度前後となり、冬に大量の雪が降る。
- 問6 福島県は、東北地方、関東地方、中部地方という3つの異なる地方に属する県と境界を接しています。福島県が南側で境界を接している、関東地方に属する3つの県の正しい組み合わせを選びなさい。（2017年 三重県公立入試 類似）
1. 茨城県、栃木県、群馬県 2. 茨城県、栃木県、埼玉県 3. 栃木県、群馬県、新潟県 4. 千葉県、茨城県、栃木県
- 問7 東北地方の中央部を南北に貫く山脈の周辺には、地下の熱エネルギーを利用した発電所が複数立地しています。この地域で見られる山脈の名称と、行われている発電方式の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2026年 岡山県公立入試 類似）
1. 奥羽山脈と水力発電 2. 奥羽山脈と地熱発電 3. 飛騨山脈と地熱発電 4. 飛騨山脈と火力発電
- 問8 冬季に降雪（降水）が多い南部の山々を源流とする河川が流れ、その周辺に平野が形成されている地域の自然環境と産業の関係について述べた次の文のうち、適切なものを選びなさい。（2021年 東京都公立入試 類似）
1. 火山灰が降り積もってきた台地が広がっており、冷涼な気候を活かした乳牛の放牧が行われている。 2. 季節風によって運ばれた砂が海岸沿いに砂丘を形成しており、水はけの良さを活かしたメロン栽培が盛んである。 3. 河口付近に広大な三角州が形成されており、重化学工業を支える大規模な掘込港湾が整備されている。 4. 山地から運ばれた土砂が扇状地を形成しており、豊富な水が得られるため医薬品工場などが立地している。
- 問9 世界地図において北緯40度の緯線上を、朝鮮半島から東に向かって進んだ場合、中国の黄河を通過した次に現れる、日本の東北地方を南北に流れる一級河川の名前として正しいものを次の中から選びなさい。（2026年 広島県公立入試 類似）
1. 筑後川 2. 信濃川 3. 北上川 4. 石狩川
- 問10 東北地方の交通と地形について述べた次の文のうち、東北新幹線のルートの特徴を正しく説明しているものはどれですか。（2023年 熊本県公立入試 類似）
1. 日本海側の平野を結ぶルートであるため、最上川や信濃川といった日本最長クラスの河川を順に渡る。 2. 岩手県から青森県にかけては、火山が連なる山岳地帯を避けるために北上川の河口付近を走行する。 3. 福島県内では険しい山越えを避けるため、阿武隈川の支流である最上川の渓谷に沿って線路が敷かれている。 4. 奥羽山脈の東側に広がる平野や盆地を通るため、阿武隈川や北上川といった太平洋側に注ぐ河川と交差する。
- 問11 東北地方の交通網と産業の関連について述べた次の文の空欄に、地理的な位置関係を踏まえてあてはまる県の組み合わせを選びなさい。「東北新幹線や東北自動車道の整備により、沿線にはIC（集積回路）などの工場が多く進出した。東京方面から進むと、新幹線は関東地方の（①）を通り、東北地方の南の玄関口である（②）へと入っていく。」（2017年 岡山県公立入試 類似）
1. ①栃木県 ②福島県 2. ①群馬県 ②福島県 3. ①埼玉県 ②山形県 4. ①栃木県 ②宮城県
- 問12 岩手県南部の沿岸で見られる、複雑に入り組んだ「リアス海岸」という地形的特徴を活かして、特に盛んに行われている活動はどれですか。（2019年 広島県公立入試 類似）
1. 大規模な干拓による稲作 2. 遠洋漁業の大型船専用のドック建設 3. 砂浜を利用した地引き網漁 4. かきやわかめの養殖
- 問13 東北地方の太平洋側では、夏にオホーツク海高気圧から冷たく湿った北東の風が吹き込み、稲の生育が妨げられることがあります。このような自然条件に対応するために行われてきた、農業の取り組みとして最も適切な説明はどれですか。（2020年 京都府公立入試 類似）
1. 温暖な冬の気候を活かした「二毛作」を推進し、夏の収穫不足を補うために麦の栽培面積を拡大した。 2. 夏に吹く乾燥した季節風を利用して、水田から畑作へと大規模な転換を行い、ブランド野菜の生産に特化させた。 3. 「やませ」による冷害を克服するため、寒さに強く食味も優れた「銘柄米」を開発し、産地ブランド化による差別化を図った。 4. 大規模な「干拓」によって農地を広げ、冷害の影響を分散させるために、品質よりも生産量を重視した安価な品種を増産した。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 やませ	初夏から夏にかけて、オホーツク海から吹き出す冷涼な気団の影響で発生する北東の風を「やませ」と呼びます。この風が長期間吹き続けると、東北地方の太平洋側を中心に気温が上昇せず、日照時間も不足するため、農作物の生育が妨げられる原因となります。
問2	答え 4 関東地方と中部地方	福島県は、関東地方の茨城県・栃木県・群馬県および中部地方の新潟県と陸地で隣接しています。そのため、福島県と陸地で接している地方は関東地方と中部地方となります。
問3	答え 3 風の名称はやませであり、気温が上がらないことで稲の生育を妨げる冷害の原因となる。	オホーツク海高気圧から吹き出す冷涼な北東風は「やませ」と呼ばれます。この風が奥羽山脈の東側である太平洋側に吹き込むと、夏でも気温が上がらず、日照不足を引き起こします。その結果、主食である稲の生育が悪くなる「冷害」が発生し、東北地方の農業に大きな影響を及ぼしてきました。
問4	答え 4 庄内平野などの広大な平野において大規模な稲作が行われており、日本の穀倉地帯としての役割を果たしている。	東北地方は秋田平野、庄内平野、仙台平野といった広大な平野を有しており、これらを利用した大規模な米作りが盛んです。日本の食料基地（穀倉地帯）と呼ばれ、米の農業生産額において全国で圧倒的なシェアを誇っています。選択肢にある畜産中心の記述は九州地方、二期作はかつての高知県などの特色であり、東北地方は冷涼な気候のため一期作が一般的です。
問5	答え 1 冬の季節風が奥羽山脈を越えて吹き下ろす際、乾燥した空気となるため、日本海側の地域に比べて冬の降水量が少なくなる。	日本の冬は北西から季節風が吹きますが、東北地方の中央を走る奥羽山脈が壁の役割を果たします。湿った空気は日本海側に雪を降させた後、山脈を越えて太平洋側へ抜ける際には乾燥した風となります。このため、仙台市を含む太平洋側では冬の降水量が少なくなり、日照時間が長くなるという因果関係があります。これが、日本海側の秋田市などに対照的な雨温図の形を作る要因です。
問6	答え 1 茨城県、栃木県、群馬県	福島県は県境を接する県が6つと非常に多く、その範囲は複数の地方にわたっています。南側では、北関東に位置する茨城県、栃木県、群馬県の3県すべてと接しています。埼玉県は群馬県や栃木県の南にあるため福島県とは接しておらず、千葉県も茨城県のさらに南東に位置するため境界は持っていません。また、新潟県は接していますが中部地方の県です。
問7	答え 2 奥羽山脈と地熱発電	東北地方の「背骨」とも呼ばれる奥羽山脈は、多くの火山が連なる火山帯に位置しています。この火山活動による熱源を利用して、地中から取り出した蒸気や熱水でタービンを回す「地熱発電」が盛んに行われています。飛騨山脈は中部地方（日本アルプス）に位置する山脈であるため、東北地方の説明としては誤りです。
問8	答え 4 山地から運ばれた土砂が扇状地を形成しており、豊富な水が得られるため医薬品工場などが立地している。	宮城県南部などの山間部における冬季の降雪は、春以降の豊かな河川流量を支える水源となります。これらの河川が山地から平野へと流れ出る地点には、土砂が堆積して扇状地が形成されます。扇状地付近では、得られる豊富な水が工業用水として活用されており、特に高度な水処理や清潔な環境を必要とする医薬品製造などの産業がこの地域の特色となっています。
問9	答え 3 北上川	北緯40度線は、日本の東北地方（秋田県や岩手県）を横断しています。この緯線上をアジア大陸から東へ移動すると、中国の黄河を越えた次に日本列島の北上川と交差します。石狩川は北海道、信濃川は中部地方、筑後川は九州地方を流れる河川であり、北緯40度線とは交差しません。
問10	答え 4 奥羽山脈の東側に広がる平野や盆地を通るため、阿武隈川や北上川といった太平洋側に注ぐ河川と交差する。	東北新幹線は、東北地方の中央を貫く奥羽山脈の東側（太平洋側）に位置する盆地をつないで建設されました。そのため、福島盆地を流れる阿武隈川や、北上盆地を流れる北上川など、太平洋へ注ぐ主要河川と密接に関係したルートとなっています。山形県を流れる最上川は奥羽山脈の西側を通るため、東北新幹線のルートからは外れます。
問11	答え 1 ①栃木県 ②福島県	東北新幹線は関東地方の北部に位置する栃木県を通過し、県境を越えて東北地方で最も南に位置する福島県へと繋がります。この高速交通網の整備によって、小型で軽量かつ付加価値の高いIC（集積回路）などを製造する工場が、高速道路のインターチェンジや新幹線駅の周辺に多く立地するようになりました。これを「シリコンロード」と呼ぶこともあります。
問12	答え 4 かきやわかめの養殖	リアス海岸は、山地が沈水してできた複雑な入り江を持つため、波が穏やかで養殖に適した環境を作り出しています。岩手県はこの地形を活かし、かきやわかめ、ほやなどの養殖業が全国的にも有名です。
問13	答え 3 「やませ」による冷害を克服するため、寒さに強く食味も優れた「銘柄米」を開発し、産地ブランド化による差別化を図った。	東北地方の太平洋側では、夏に「やませ」と呼ばれる冷涼な北東風が吹くことで、気温が上がらず作物が育たない冷害が度々発生してきました。これに対し、農業試験場などで寒さに強い品種の研究が進められた結果、「コシヒカリ」や「ひとめぼれ」のように味も良く寒さにも強い品種が誕生しました。これらは「銘柄米」としてブランド化され、市場価値を高めることで地域農業の安定と発展に寄与しています。

問1 東北地方では、かつて内陸部を南北に貫く幹線道路の整備が中心でしたが、近年は日本海側や太平洋側を結ぶ東西方向の路線や、三陸沿岸などの沿岸路線の整備が急速に進んでいます。このような高速道路網の広がりがもたらす効果として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 宮城県公立入試 類似)

1. 主要な都市が東京と直結されることで、地方都市の機能がすべて都心部へ集約され、地域独自の産業が衰退する。
2. 南北の移動のみが高速化されることで、沿岸部と内陸部の経済的な格差を広げ、地域間の交流を減少させる。
3. 網目状の交通網が形成されることで、都市間の結びつきが強まり、移動時間の短縮や地域交流の活性化が期待される。
4. 道路の維持管理コストを削減するために、利用者の多い一部の幹線道路にのみ交通を集中させ、移動手段を限定する。

問2 青森県と東京都の年齢別人口構成を比較したとき、1970年における15歳未満割合が27.8%と21.0%、2020年における高齢化率（65歳以上割合）が33.9%と22.8%であった場合、これらの数値から読み取れる変化の傾向として最も適切なものを1つ選びなさい。 (2025年 熊本県公立入試 類似)

1. 1970年に15歳未満割合が27.8%と高かった青森県は、2020年には高齢化率が33.9%となり、東京都よりも高齢化が進んでいる。
2. 1970年に15歳未満割合が27.8%であった東京都は、2020年には高齢化率が33.9%となり、青森県よりも高齢化が進んでいる。
3. 1970年に15歳未満割合が21.0%であった東京都は、2020年には高齢化率が33.9%となり、青森県よりも高齢化が進んでいる。
4. 1970年に15歳未満割合が21.0%であった青森県は、2020年には高齢化率が22.8%となり、東京都よりも高齢化が抑えられている。

問3 東北地方に位置する宮城県の県庁所在地として正しいものはどれか。なお、この都市は県名と都市名が異なる例の一つである。 (2016年 北海道公立入試 類似)

1. 仙台市
2. 金沢市
3. 秋田市
4. 高松市

問4 東北地方の地形について、中央部の南北に走る奥羽山脈と、その東側に位置する北上山地の特徴を比較した記述として正しいものはどれか。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)

1. 奥羽山脈は火山が多く含まれる険しい山脈であり、北上山地は比較的古くならかな高原状の地形である。
2. 奥羽山脈は標高が低くならかな高原であり、北上山地は火山活動が盛んな険しい山脈である。
3. 奥羽山脈はリアス海岸を形成する原因となっており、北上山地は日本最大の山脈として中央部を貫いている。
4. 奥羽山脈は東北地方の西側に位置して日本海に面しており、北上山地は中央部を南北に走っている。

問5 東北地方の中央部を南北に貫くように走り、日本最大級の長さを誇る山脈の名前を答えなさい。 (2023年 徳島県公立入試 類似)

1. 出羽山地
2. 北上高地
3. 越後山脈
4. 奥羽山脈

問6 東北地方の太平洋側に位置する県のうち、青森県の南、宮城県の北に接し、本州で最も広い面積を持つ県はどこですか。 (2019年 広島県公立入試 類似)

1. 青森県
2. 秋田県
3. 岩手県
4. 福島県

問7 岩手県で生産されている南部鉄器は、国の「伝統的工芸品」に指定されています。この「伝統的工芸品」の制度や特徴についての説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2017年 千葉県公立入試 類似)

1. 伝統を守るためにデザインの変更が一切禁止されており、現代の日常生活では使用されない
2. 原材料のすべてを海外から輸入することが義務付けられており、安価な大量生産を目的としている
3. 21世紀以降に開発された最新の技術を用い、高度なロボットによって自動生産されている
4. 100年以上の歴史があり、製造工程の主要な部分が熟練の職人による手作業である

問8 青森県の「ねぶた祭」などの伝統的な祭りが、現代の地域社会において果たしている役割や背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2019年 三重県公立入試 類似)

1. 古くからの風習や歴史を継承するだけでなく、観光資源として多くの人々を呼び込み、地域経済の活性化に寄与している。
2. 国の重要無形民俗文化財に指定されることで、祭りの運営に関するすべての意思決定が地方自治体ではなく国に移管されている。
3. 地域の産業構造を農業から工業へ転換させることを主な目的として、近代以降に政府主導で創設された。
4. 特定の県に居住するすべての住民に対して、祭りに参加することが法律によって義務付けられており、地域の団結力を高めている。

問9 日本の太平洋沖などで見られる、南から北上する暖流と北から南下する寒流がぶつかり合う海域を何というか。この海域はプランクトンが豊富で、多くの魚が集まる良質な漁場となっている。 (2024年 青森県公立入試 類似)

1. 大陸棚
2. 扇状地
3. 潮境（潮目）
4. 海溝

問10 岩手県を代表する伝統的工芸品である「南部鉄器」の特徴や背景について述べた文として、正しいものはどれか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)

1. 京都から伝わった高度な織物の技術を背景に、華やかな模様の衣服として普及した。
2. ブナやスギなどの豊富な森林資源を利用し、樹皮を加工して作る木工品である。
3. 盛岡市や奥州市を中心に生産され、鉄瓶などに代表される頑丈で独特の質感を持つ鋳造品である。
4. 日本海側の気候を生かした漆塗りの技術が特徴で、主に高級な食器として発展した。

問11 東北地方を東西に分断するようにそびえる奥羽山脈は、この地域の冬の気候に大きな影響を与えています。その地形的特徴と気候の関係について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)

1. 太平洋側から吹く湿った季節風が奥羽山脈によって遮断されるため、太平洋側のみ大雪が降り、日本海側は常に乾燥する。
2. 日本海側からの湿った季節風が奥羽山脈にぶつかって上昇することで、日本海側に大雪をもたらす、太平洋側には乾燥した空気を運ぶ。
3. 奥羽山脈が非常に低いため季節風がそのまま通過し、東北地方の全域で日本海側から太平洋側まで均一に雪が降り積もる。
4. 奥羽山脈が冬の冷たい季節風を完全に防ぐ壁となるため、山脈より南側の地域では雪が全く降らなくなる。

問12 山形県の内陸部では、高速道路の整備に伴って電子部品などの工場が多く進出しています。このような製品を作る工場が、沿岸部ではなく内陸部の高速道路沿いに立地する理由として最も適切なものはどれか、選びなさい。 (2017年 兵庫県公立入試 類似)

1. 原料となる鉄鋼などの重い資材を高速道路で海外から直接輸入し、生産コストを大幅に削減する必要があるから。
2. 電子部品は重量があり、容積も大きい、鉄道や船舶による大量輸送を前提とした大規模な物流拠点が必要だから。
3. 電子部品は小型で軽量なため、高速道路を利用したトラック輸送に適しており、付加価値が高いため輸送費の負担を抑えられるから。
4. 内陸部は沿岸部に比べて地価が極めて高く、ブランド力を高めるためにあえて高級な立地条件を選んでいるから。

問13 東北地方の6県について、面積や農業生産額をまとめた統計資料を確認すると、県の名称と県庁所在地の名称が異なる県がいくつか存在することがわかります。岩手県と宮城県における県庁所在地の名称の組み合わせとして、正しいものはどれですか。 (2021年 香川県公立入試 類似)

1. 岩手県 ― 岩手市、宮城県 ― 仙台市
2. 岩手県 ― 花巻市、宮城県 ― 石巻市
3. 岩手県 ― 盛岡市、宮城県 ― 仙台市
4. 岩手県 ― 盛岡市、宮城県 ― 宮城市

答え合わせ・解説

問1	答え 3 網目状の交通網が形成されることで、都市間の結びつきが強まり、移動時間の短縮や地域交流の活性化が期待される。	東北地方では、東北自動車道などの南北の幹線に加え、秋田自動車道や釜石自動車道といった東西を結ぶ横断路線、さらに三陸沿岸道路などの路線の整備が進みました。これにより、地域全体が網目状に結ばれることになり、内陸と沿岸、あるいは都市間の移動時間が大幅に短縮されました。これは物流の効率化や観光振興、災害時の緊急輸送路の確保など、多方面で地域活性化に寄与しています。
問2	答え 1 1970年に15歳未満割合が27.8%と高かった青森県は、2020年には高齢化率が33.9%となり、東京都よりも高齢化が進んでいる。	1970年時点の青森県は15歳未満の割合が27.8%と東京都（21.0%）より高い状態でした。しかし、その後の人口移動や少子高齢化の影響により、2020年時点では青森県の高齢化率が33.9%となり、東京都（22.8%）を大幅に上回る結果となっています。
問3	答え 1 仙台市	宮城県は、宮城県の県庁所在地は仙台市である。選択肢のうち、秋田市は秋田県の県庁所在地であり県名と一致しているため条件に当てはまらない。金沢市（石川県）と高松市（香川県）は、仙台市と同様に県名と県庁所在地名が異なる都市の例として知られるが、それぞれ北陸地方と四国地方の都市であり、宮城県ではない。
問4	答え 1 奥羽山脈は火山が多く含まれる険しい山脈であり、北上山地は比較的古くならかな高原状の地形である。	東北地方の中央を走る奥羽山脈は、火山帯が重なり急峻な山々が連なるのが特徴です。一方、その東側（太平洋側）にある北上山地は、古い地層からなり、長年の浸食によってなだらかな高原状の地形が広がっています。この地形の差は、農業や土地利用の仕方の違いにも繋がっています。
問5	答え 4 奥羽山脈	東北地方の「背骨」とも呼ばれるこの山脈は、青森県から栃木県付近まで約500kmにわたって続く日本最長の山脈です。この山脈が地域の中心を縦断していることで、東北地方は日本海側と太平洋側の二つの地域に大きく分けられています。
問6	答え 3 岩手県	東北地方の東側に位置するこの県は、北を青森県、南を宮城県に挟まれており、広大な県土を有しています。沿岸部の南部には複雑な海岸線が見られ、地理的な特徴を活かした産業が発達しています。
問7	答え 4 100年以上の歴史があり、製造工程の主要な部分が熟練の職人による手作業である	伝統的工芸品は「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」に基づき、100年以上の歴史があること、主要な工程が手作業であること、日常生活で使われるものであることなどが指定の条件となっています。南部鉄器もこれらの条件を満たし、地域の特色ある産業として受け継がれています。
問8	答え 1 古くからの風習や歴史を継承するだけでなく、観光資源として多くの人々を呼び込み、地域経済の活性化に寄与している。	伝統的な祭りは、その土地の歴史や文化を次世代に伝える重要な役割を持っています。それと同時に、ねぶた祭のような大規模な行事は、全国あるいは海外から多くの観光客を集めることで、宿泊業や飲食業、交通機関など地域の経済に大きな影響を与える「地域活性化」の柱となっています。重要無形民俗文化財への指定は、その保存を支援するものであり、運営の主体を国に移したり、住民に参加を義務付けたりするものではありません。
問9	答え 3 潮境（潮目）	暖流と寒流がぶつかる場所では、海水がかき混ざることによって下層の栄養分が海面近くに上昇し、植物プランクトンが多く発生します。そのため、これらを餌とする魚が集まりやすく、好漁場が形成されます。誤答の「大陸棚」は水深200m程度までの平坦な海底地形、「海溝」は深く切れ込んだ海底地形を指します。
問10	答え 3 盛岡市や奥州市を中心に生産され、鉄瓶などに代表される頑丈で独特の質感を持つ鋳造品である。	南部鉄器は岩手県の北上川流域などで得られる砂鉄や岩鉄、粘土などを原料として発展しました。鉄を溶かして型に流し込む「鋳造（ちゅうぞう）」という技法が用いられており、その重厚な風合いと高い耐久性が特徴です。他の選択肢にある漆器、織物、木工品とは、素材や製造工程において明確に区別されます。
問11	答え 2 日本海側からの湿った季節風が奥羽山脈にぶつかって上昇することで、日本海側に大雪をもたらす、太平洋側には乾燥した空気を運ぶ。	東北地方の中央に位置する奥羽山脈は、冬に日本海から吹く湿った北西の季節風を遮る壁の役割を果たします。風が山脈を越える際に上昇して雪を降らせるため、日本海側は世界有数の豪雪地帯となります。一方で、山脈を越えて太平洋側に吹き下ろす風は水分を失って乾燥しているため、太平洋側では冬に晴天が多くなるという気候の地域差が生じます。
問12	答え 3 電子部品は小型で軽量なため、高速道路を利用したトラック輸送に適しており、付加価値が高いため輸送費の負担を抑えられるから。	山形県では、東北自動車道や山形自動車道などの高速道路網が整備されたことで、内陸部への工業立地が加速しました。電子部品などの製品は、製品そのものが軽量で高価（高付加価値）であるため、重化学工業のように港湾を利用した大規模な原材料輸送を必要としません。そのため、交通の利便性が高い高速道路沿いの工業団地などに工場が進出する傾向があります。
問13	答え 3 岩手県 ― 盛岡市、宮城県 ― 仙台市	東北地方の6県のうち、青森県（青森市）、秋田県（秋田市）、山形県（山形市）、福島県（福島市）の4県は県名と県庁所在地名が一致しています。一方で、岩手県は盛岡市、宮城県は仙台市が県庁所在地となっており、県名と都市名が異なります。仙台市は東北地方唯一の政令指定都市であり、行政や経済の中心地としての役割を担っています。

- 問1 宮城県の県庁所在地である仙台市は、年間商品販売額が東北地方の中で突出して高いという特徴がある。このような経済的特徴を持つ背景として、仙台市が果たしている都市としての役割を説明したものとして最も適切なものはどれか。 (2021年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 多くの企業が支店や営業所を置き、東北地方全体の経済を管理する拠点となっている。 | 2. 古くからの歴史的な街並みを保存し、観光客の誘致を主目的とした観光都市として発展している。 | 3. 大規模な石油化学コンビナートが形成され、重化学工業の製品出荷が産業の中心となっている。 | 4. 広大な平野を活用した大規模な稲作が行われ、東北最大の米の集散地として機能している。 |
|--|---|--|--|
- 問2 1993年の東北地方における気象データでは、夏季の日照時間が極端に短く、気温が平年に比べて非常に低い状態が確認できます。このような被害をもたらす要因となる、初夏から夏にかけてオホーツク海高気圧から吹き出す、冷たく湿った北東の風を何といいますか。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|---------|---------------|
| 1. やませ | 2. からっ風 | 3. フェーン | 4. 季節風 (モンスン) |
|--------|---------|---------|---------------|
- 問3 東北地方の北東部に位置し、農業産出額において畜産の割合が非常に高い岩手県の農業の特色として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. サクランボやブドウなどの果実栽培に特化しており、県外への出荷額において果実が最大の割合を占める。 | 2. リンゴの生産量が全国第1位であり、果実の産出額が畜産や米の産出額を圧倒している。 | 3. 広大な土地を活用した肉用牛や乳用牛などの飼育が盛んで、畜産の産出額が米や果実を上回っている。 | 4. 庄内平野などの平野部を中心とした大規模な稲作が中心であり、米の産出額が県全体の半分以上を超えている。 |
|---|---|---|---|
- 問4 青森県の「津軽塗」に使われるヒバや、秋田県の「大館曲げわっぱ」に使われるスギのように、東北地方の伝統的工芸品で広く利用されてきた原材料の調達方法として、最も適切な記述を選びなさい。 (2025年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|------------------------------------|
| 1. 海外から船便で輸入された安価な外国産木材を利用している | 2. 近隣の鉱山から大量に産出される金属資源を混ぜ合わせて利用している | 3. 周辺の森林などで豊富に産出される地域資源を利用している | 4. 温暖な気候を利用して南日本で栽培された特殊な植物を利用している |
|--------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|------------------------------------|
- 問5 東北地方の交通と地形について述べた次の文のうち、東北新幹線のルートの特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 岩手県から青森県にかけては、火山が連なる山岳地帯を避けるために北上川の河口付近を走行する。 | 2. 福島県内では険しい山越えを避けるため、阿武隈川の支流である最上川の渓谷に沿って線路が敷かれている。 | 3. 奥羽山脈の東側に広がる平野や盆地を通るため、阿武隈川や北上川といった太平洋側に注ぐ河川と交差する。 | 4. 日本海側の平野を結ぶルートであるため、最上川や信濃川といった日本最長クラスの河川を順に渡る。 |
|--|--|--|---|
- 問6 東北地方の盆地において、果樹栽培が盛んに行われている地理的な理由を説明したものとして、正しい内容はどれですか。 (2024年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 内陸部で一年中降水量が多く、果樹の成長に必要な水分が常に豊富に供給されるため | 2. 火山灰が堆積してできた水持ちの悪い台地が広がっており、それを利用しているため | 3. 周囲の山々が冷たい季節風を遮るため、冬でも温暖で柑橘類の栽培に適しているため | 4. 山に囲まれた地形により形成された、水はけの良い傾斜地が果樹の生育に適しているため |
|---|---|---|---|
- 問7 東北地方の太平洋側沖合では、暖流である黒潮と寒流である親潮が出会う「潮目」が形成されます。この潮目が魚の集まる絶好の漁場となる理由について、正しく説明しているものを、次のうちから選びなさい。 (2025年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 暖流と寒流の水圧の差によって強い沈降流が発生し、海底の大きな魚が浮上してくるため。 | 2. 寒流が運ぶ豊富な栄養分と暖流の温暖な環境により、魚の餌となるプランクトンが大量に発生するため。 | 3. 寒流に含まれる塩分濃度が暖流によって薄められ、淡水魚と海水魚の両方が繁殖できるようになるため。 | 4. 暖流と寒流が衝突することで水温が常に一定に保たれ、魚が産卵するための巣を作りやすくなるため。 |
|--|--|--|---|
- 問8 東北地方の太平洋側では、初夏にオホーツク海高気圧から冷たく湿った風が吹き込み、気温が上がらずに稲の生育が妨げられることがあります。この風の名称として正しいものはどれですか。 (2026年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|------------|---------|--------|
| 1. フェーン現象 | 2. 季節風 (冬) | 3. からっ風 | 4. やませ |
|-----------|------------|---------|--------|
- 問9 宮城県の東方沖をはじめとする太平洋の海域では、北から南下してくる親潮 (千島海流) と、南から北上してくる黒潮 (日本海流) がぶつかり合います。プランクトンが豊富に発生し、多種多様な魚が集まることで好漁場の条件となっている、このような海流の境界を何と呼びますか。 (2020年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|--------|--------|-------|
| 1. 排他的経済水域 | 2. 大陸棚 | 3. バンク | 4. 潮目 |
|------------|--------|--------|-------|
- 問10 東北地方で生産されている伝統的工芸品と、その主な生産地の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2022年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|------------|-------------|--------------|
| 1. 青森県の津軽塗 | 2. 岩手県の樺細工 | 3. 山形県の南部鉄器 | 4. 秋田県の天童将棋駒 |
|------------|------------|-------------|--------------|
- 問11 東北地方において、夏にオホーツク海高気圧から吹き込む冷たく湿った風の影響を受け、太平洋側の宮古市などで農作物の生育に影響を与える低温をもたらす風の名称として正しいものを1つ選びなさい。 (2022年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------------|--------|---------|
| 1. フェーン風 | 2. 季節風 (からっ風) | 3. やませ | 4. シロソコ |
|----------|---------------|--------|---------|
- 問12 冬季に降雪 (降水) が多い南部の山々を源流とする河川が流れ、その周辺に平野が形成されている地域の自然環境と産業の関係について述べた次の文のうち、適切なものを選びなさい。 (2021年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 山地から運ばれた土砂が扇状地を形成しており、豊富な水が得られるため医薬品工場などが立地している。 | 2. 河口付近に広大な三角洲が形成されており、重化学工業を支える大規模な掘込港湾が整備されている。 | 3. 季節風によって運ばれた砂が海岸沿いに砂丘を形成しており、水はけの良さを活かしたメロン栽培が盛んである。 | 4. 火山灰が降り積もってきた台地が広がっており、冷涼な気候を活かした乳牛の放牧が行われている。 |
|---|---|--|--|
- 問13 宮城県の稲作における品種別作付割合の推移を見ると、1991年からそれまでの主要品種が急激に減少し、1994年には新たに普及した「ひとめぼれ」がその品種を初めて上回りました。「ひとめぼれ」に主役の座を譲ることとなった、かつての主要品種として正しいものを次から選びなさい。 (2019年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|----------|-----------|
| 1. コシヒカリ | 2. ササニシキ | 3. ななつぼし | 4. あきたこまち |
|----------|----------|----------|-----------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 多くの企業が支店や営業所を置き、東北地方全体の経済を管理する拠点となっている。	仙台市は「支店経済都市」とも呼ばれ、東北地方全体を管轄する企業の支店や、官公庁の出先機関が集中しています。これにより、卸売業や小売業が極めて盛んになり、年間商品販売額が他県に比べて非常に高い数値を示します。製造品出荷額も高いですが、商業活動の拠点性がより顕著な特徴です。
問2	答え 1 やませ	東北地方の太平洋側では、夏にオホーツク海高気圧が発達すると、そこから冷たく湿った北東の風である「やませ」が吹き込みます。通常は一時的なものですが、1993年のようにこの風が長期間吹き続けると、厚い雲に覆われて日照時間が不足し、気温が上がらないため、稲作に甚大な被害（冷害）を及ぼします。これに対し、冬に山を越えて吹き降ろす乾燥した冷たい風は「からっ風」と呼ばれます。
問3	答え 3 広大な土地を活用した肉用牛や乳用牛などの飼育が盛んで、畜産の産出額が米や果実を上回っている。	岩手県は、北上高地などの広大な山地・丘陵地を利用した畜産業が発達しています。東北地方の他県では「米」や「果実（青森のリンゴや山形のサクランボ）」が産出額の首位となるケースが多いですが、岩手県は畜産が農業の中心となっており、産出額の構成において畜産が米や果実を大きく引き離しているのが地理的な特徴です。
問4	答え 3 周辺の森林などで豊富に産出される地域資源を利用している	東北地方の伝統的工芸品は、地元周辺の豊富な森林資源などの地域資源を加工することで発達しました。海外からの輸入原材料や温暖な気候で育つ資源に依存しているわけではありません。
問5	答え 3 奥羽山脈の東側に広がる平野や盆地を通るため、阿武隈川や北上川といった太平洋側に注ぐ河川と交差する。	東北新幹線は、東北地方の中央を貫く奥羽山脈の東側（太平洋側）に位置する盆地をつないで建設されました。そのため、福島盆地を流れる阿武隈川や、北上盆地を流れる北上川など、太平洋へ注ぐ主要河川と密接に関係したルートとなっています。山形県を流れる最上川は奥羽山脈の西側を通るため、東北新幹線のルートからは外れます。
問6	答え 4 山に囲まれた地形により形成された、水はけの良い傾斜地が果樹の生育に適しているため	盆地の周辺部には、山から流れ出た土砂が積もってできた「扇状地」と呼ばれる水はけの良い緩やかな傾斜地が多く見られます。果樹は一般に水はけの良い土地を好むため、これらの地形が有効に活用されています。また、内陸の盆地は夏に気温が上がりがやすく、日照時間も確保しやすいため、果実の甘みが増すという気候的な利点も組み合わさっています。
問7	答え 2 寒流が運ぶ豊富な栄養分と暖流の温暖な環境により、魚の餌となるプランクトンが大量に発生するため。	親潮などの寒流は栄養分を多く含んでおり、黒潮などの暖流と交わることで、太陽光を受けてプランクトンが盛んに増殖します。この大量のプランクトンを求めて寒流系・暖流系双方の魚が集まるため、豊かな漁場となります。
問8	答え 4 やませ	オホーツク海高気圧から吹き出す冷たく湿った北東の風を「やませ」と呼びます。この風が初夏に東北地方の太平洋側に吹き込むと、曇天が続いて日照時間が不足し、気温が上がらないために、稲作に深刻な影響を与える冷害が発生します。
問9	答え 4 潮目	寒流である親潮と暖流である黒潮がぶつかる境界付近は「潮目（潮境）」と呼ばれます。異なる性質の海水が混ざり合うことで海中の栄養分が巻き上げられ、プランクトンが大量に発生するため、それを餌とする魚類が多く集まる世界的な好漁場となります。
問10	答え 1 青森県の津軽塗	津軽塗は青森県の弘前市を中心に生産されている漆器です。南部鉄器は岩手県の盛岡市や奥州市、天童将棋駒は山形県、樺細工（桜の皮を利用した工芸品）は秋田県の伝統的工芸品であるため、他の選択肢は県名と工芸品の組み合わせが誤っています。
問11	答え 3 やませ	夏にオホーツク海高気圧から吹き込む冷たく湿った北東の風は「やませ」と呼ばれます。奥羽山脈の東側に位置する宮古市などの太平洋側では、この風の影響で夏の気温が上がりにくく、冷害が発生することがあります。
問12	答え 1 山地から運ばれた土砂が扇状地を形成しており、豊富な水が得られるため医薬品工場などが立地している。	宮城県南部などの山間部における冬季の降雪は、春以降の豊かな河川流量を支える水源となります。これらの河川が山地から平野へと流れ出る地点には、土砂が堆積して扇状地が形成されます。扇状地付近では、得られる豊富な水が工業用水として活用されており、特に高度な水処理や清潔な環境を必要とする医薬品製造などの産業がこの地域の特色となっています。
問13	答え 2 ササニシキ	宮城県では長年、良食味米として「ササニシキ」が広く栽培されてきました。しかし、1993年の記録的な冷害などをきっかけに、冷害に弱かったササニシキから、冷害に強く味も良い「ひとめぼれ」への品種交代が急速に進みました。統計上でも1991年以降ササニシキが急減し、1994年にひとめぼれが過半数を超えて逆転しています。

- 問1 東北地方の交通網について述べた文として、福島県の地理的特徴をふまえて正しい説明となっているものを選びなさい。 (2022年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 日本で最も長い国道4号が県内を南北に貫いており、関東地方と東北地方を結ぶ物流の大動脈となっている。 | 2. 東北地方の北端に位置するため、国道4号の終点として北海道へのフェリー航路と直結している。 | 3. 県内を国道4号が通過しているが、この国道は日本海沿いに整備されているため秋田県や山形県へのアクセスに優れている。 | 4. 国道4号は栃木県と新潟県の間を通過するルートとなっており、福島県内を通ることはない。 |
|--|---|---|---|
- 問2 東北地方の日本海側に位置する都市の気候統計に見られる特徴として、正しいものはどれですか。 (2020年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 冷害の原因となる「やませ」の影響を強く受けるため、1月の平均気温は氷点下にはならないが、8月の平均気温が24度未満になることが多い。 | 2. 暖流である日本海海流の影響を強く受けるため、1月の平均気温は5度を上回り、雪ではなく雨が多く降る。 | 3. 冬の季節風の影響を強く受けるため、1月の降水量は100mmを超えることが多く、北部の地域では1月の平均気温が氷点下になる。 | 4. 季節風が奥羽山脈によって遮られるため、1月の降水量は100mm未満となり、冬は乾燥して晴天の日が多くなる。 |
|---|--|--|--|
- 問3 東北地方の各県の特徴について述べた次の説明のうち、県名と県庁所在地の名称が異なる県に関する記述として適切なものはどれですか。 (2021年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. サクランボの生産量が全国1位である県の県庁所在地は山形市であり、県名と都市名が異なっている。 | 2. 本州で最も広い面積を持つ県の県庁所在地は盛岡市であり、北上盆地を中心に農作物の栽培が行われている。 | 3. 東北地方で最も人口が多い県の県庁所在地は宮城市であり、周辺の平野部では稲作が盛んである。 | 4. 東北地方の6県は、すべて県名と県庁所在地の名称が一致しており、行政上の混乱を防いでいる。 |
|---|--|---|---|
- 問4 仙台駅から鉄道を利用して移動する場合、盛岡駅へは約39分で到着できるのに対し、気仙沼駅へは約129分を要します。このように、仙台駅から各都市への所要時間に大きな差が生じる要因として、東北地方の交通網の整備状況から説明できる最も適切な理由はどれですか。 (2026年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 仙台駅と盛岡駅の間には東北新幹線が整備されており、高速での移動が可能となっているから | 2. 気仙沼駅は沿岸部に位置しており、新幹線が通っているものの運行本数が極めて少ないから | 3. 気仙沼駅へは新幹線と在来線の両方が並行して走っており、駅での乗り換えに時間を要するから | 4. 盛岡駅へ向かう路線は、地形が平坦であるため在来線が新幹線に近い速度で運行されているから |
|---|--|--|--|
- 問5 東北地方のある地点の気候統計において、12月と1月の降水量が200mmを超えて年間でも多く、夏よりも冬の降水量が多いという特徴が見られる場合、その地点の場所と気候区分の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。 (2019年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------|-------------------|-------------------|-----------------|
| 1. 宮城県仙台市 太平洋側の気候 | 2. 岩手県沿岸部 太平洋側の気候 | 3. 山形県内陸部 日本海側の気候 | 4. 北海道東部 北海道の気候 |
|-------------------|-------------------|-------------------|-----------------|
- 問6 福島県内陸部に位置する若松は、太平洋沿岸の小名浜に比べて冬の気温が低く、年間の気温の変化(年較差)が大きいという特徴があります。若松の1月の平均気温が約1度、年間の降雪日数が約102日であるのに対し、小名浜の1月の平均気温は約4度、降雪日数は約24日となっています。若松において、冬の降雪日数がこれほどまでに多くなる地理的な要因として最も適切なものはどれですか。 (2024年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|--|
| 1. 黒潮(日本海流)の影響で大気が不安定になり、雲雲が発達しやすいため | 2. 日本海側から吹き込む湿った季節風の影響を強く受けるため | 3. 太平洋側から吹き込む湿った南東の季節風が奥羽山脈を越えてくるため | 4. シベリア高気圧から吹き出す乾いた風がフェーン現象を起こして冷え込むため |
|--------------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|--|
- 問7 日本の諸地域に関するある統計において、人口が約228万人で東北地方の経済の拠点となっており、製造品出荷額等が約4兆3853億円、海面漁業漁獲量が約184千tという高い数値を示している県はどこですか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 長崎県 | 2. 青森県 | 3. 宮城県 | 4. 熊本県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問8 岩手県盛岡市などの統計において、1993年や2003年には7月・8月の平均気温が摂氏20度を下回るほど低くなり、これに伴って米の収穫量が平年の半分以下まで激減したことが記録されています。このような深刻な冷害を引き起こした気象現象の説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------|----------------------------------|
| 1. 夏にオホーツク海側から吹き込む、冷たく湿った北東の風の影響 | 2. 冬に日本海側から山を越えて太平洋側に吹く、乾燥した北西の風の影響 | 3. 夏に山を越えて吹き下ろす、高温で乾燥した風の影響 | 4. 夏に南方の海洋から吹き込む、高温で湿った南東の季節風の影響 |
|----------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------|----------------------------------|
- 問9 東北地方の太平洋側では、1980年や1993年のように、米の作況指数が著しく低下し、農業に深刻な打撃を与える年があります。このような事態を招く気象現象の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. オホーツク海高気圧から吹き込む冷たく湿った北東風「やませ」により、夏の気温が上がらず冷害が発生する | 2. シベリア高気圧から吹き出す乾燥した北西の季節風が奥羽山脈を越え、太平洋側に大雪をもたらす | 3. 小笠原高気圧の勢力が強まることで、太平洋側から高温で乾燥した風が吹き続け、深刻な干害が発生する | 4. 発達した低気圧が日本海を通過する際、山を越えて吹き下ろす熱い風によって気温が急上昇するフェーン現象が起こる |
|--|---|--|--|
- 問10 1993年や2003年の統計において、岩手県の米の作況指数(平年を100とした収穫量の割合)が30や73といった非常に低い値を示し、全国平均や西日本の山口県を大きく下回る深刻な不作となった主な要因は何ですか。 (2025年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------|-------------|----------------|----------------|
| 1. フェーン現象による高温障害 | 2. やませによる冷害 | 3. 冬の季節風による大雪害 | 4. 台風の直撃による風水害 |
|------------------|-------------|----------------|----------------|
- 問11 東北地方の太平洋側に位置する県のうち、青森県の南、宮城県の北に接し、本州で最も広い面積を持つ県はどこですか。 (2019年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 岩手県 | 2. 秋田県 | 3. 福島県 | 4. 青森県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問12 東北地方の太平洋側では、夏にオホーツク海高気圧から冷たく湿った北東の風が吹き込み、稲の生育が妨げられることがあります。このような自然条件に対応するために行われてきた、農業の取り組みとして最も適切な説明はどれですか。 (2020年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 夏に吹く乾燥した季節風を利用して、水田から畑作へと大規模な転換を行い、ブランド野菜の生産に特化させた。 | 2. 温暖な冬の気候を活かした「二毛作」を推進し、夏の収穫不足を補うために麦の栽培面積を拡大した。 | 3. 「やませ」による冷害を克服するため、寒さに強く食味も優れた「銘柄米」を開発し、産地ブランド化による差別化を図った。 | 4. 大規模な「干拓」によって農地を広げ、冷害の影響を分散させるために、品質よりも生産量を重視した安価な品種を増産した。 |
|--|---|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 日本で最も長い国道4号が県内を南北に貫いており、関東地方と東北地方を結ぶ物流の大動脈となっている。	福島県は東北地方の南端に位置し、古くから関東と東北を結ぶ交通の拠点として発展してきました。日本で最も長い国道である国道4号は、東京都から青森県までを結んでおり、福島県内を南北に通過することで、東北地方全体の経済や生活を支える重要な役割を果たしています。
問2	答え 3 冬の季節風の影響を強く受けるため、1月の降水量は100mmを超えることが多く、北部の地域では1月の平均気温が氷点下になる。	東北地方の日本海側の気候は、冬の季節風によってもたらされる雪の影響で、冬（1月）の降水量が他の地域に比べて多くなるのが大きな特徴です。特に山地や北部では1月の平均気温が氷点下となり、積雪量も多くなります。「1月の降水量が100mm未満」や「8月の平均気温が24度未満（やませの影響）」といった選択肢は、東北地方の太平洋側の気候の特徴と混同しないよう注意が必要です。
問3	答え 2 本州で最も広い面積を持つ県の県庁所在地は盛岡市であり、北上盆地を中心に農作物の栽培が行われている。	岩手県は本州で最大の面積を持ち、その県庁所在地は盛岡市です。宮城県は県庁所在地は仙台市であり、宮城市ではない点に注意が必要です。山形県はサクランボの生産で有名ですが、県名と県庁所在地（山形市）は一致しています。東北地方で県名と都市名が異なるのは、岩手県（盛岡市）と宮城県（仙台市）の2県のみです。
問4	答え 1 仙台駅と盛岡駅の間には東北新幹線が整備されており、高速での移動が可能となっているから	東北地方の交通網は、仙台市を中心に放射状に整備されています。特に東北新幹線が通る盛岡駅などは、仙台駅からの距離があっても短時間で移動できるという特徴があります。一方で、気仙沼駅のように新幹線が直接通っていない都市への移動には、在来線などを利用する必要があります。そのため、新幹線整備済みの都市と比較して所要時間が長くなる傾向があります。
問5	答え 3 山形県の内陸部 ― 日本海側の気候	冬の降水量が夏よりも多くなるのは、冬の季節風によってもたらされる雪の影響を強く受ける日本海側の気候の典型的な特徴です。山形県は奥羽山脈の西側に位置しているため、この日本海側の気候に属します。一方で、岩手県や宮城県などの太平洋側の地域は、冬は乾燥して晴天が多くなるため、冬の降水量は少なくなります。
問6	答え 2 日本海側から吹き込む湿った季節風の影響を強く受けるため	若松は福島県の内陸部に位置する盆地であり、冬には日本海側から湿った冷たい季節風が吹き込みます。この季節風が奥羽山脈などの山地を越える際に雪を降らせるため、日本海側の気候に近い「多雪」という特徴を持ちます。一方、沿岸部の小名浜は、山脈によってこの季節風が遮られるため、冬は乾燥して晴天が多くなり、降雪日数が少なくなります。
問7	答え 3 宮城県	東北地方において約230万人という最大の人口規模を持ち、仙台市を中心に経済の拠点となっているのは宮城県です。宮城県は三陸海岸という優良な漁場を背景に、海面漁業漁獲量が全国でも上位に位置することが大きな特徴です。熊本県も漁業が盛んですが、人口規模や東北地方の拠点という文脈から、提示された統計は宮城県に該当します。
問8	答え 1 夏にオホーツク海側から吹き込む、冷たく湿った北東の風の影響	東北地方の太平洋側で記録された平均気温の低下と米の減収は、冷たく湿った北東の風である「やませ」による冷害が原因です。特に1993年は歴史的な記録不足（平成の米騒動）として知られています。選択肢にある「山を越えて吹き下ろす高温で乾燥した風」はフェーン現象、「冬に吹く乾燥した北西の風」はからっ風の説明であり、これらは冷害の直接的な原因とはなりません。
問9	答え 1 オホーツク海高気圧から吹き込む冷たく湿った北東風「やませ」により、夏の気温が上がらず冷害が発生する	東北地方の太平洋側では、夏にオホーツク海高気圧から「やませ」と呼ばれる冷涼な北東風が吹き込むことがあります。この風が長期間吹き続けると、夏でも気温が上がらず、日照時間も不足します。その結果、稲の生育が妨げられる「冷害」が発生し、過去には米の収穫量が平年の半分以下になるような深刻な凶作を招きました。
問10	答え 2 やませによる冷害	1993年や2003年は、夏に北東風の「やませ」が強く吹き続けたため、東北地方の太平洋側を中心に記録的な日照不足と低温に見舞われました。これにより、岩手県などの地域では米がほとんど収穫できないほどの深刻な冷害（不作）となりました。一方、西日本に位置する山口県などはこの風の影響を直接受けないため、東北地方と比較して作況指数の低下は限定的でした。
問11	答え 1 岩手県	東北地方の東側に位置するこの県は、北を青森県、南を宮城県に挟まれており、広大な県土を有しています。沿岸部の南部には複雑な海岸線が見られ、地理的な特徴を活かした産業が発達しています。
問12	答え 3 「やませ」による冷害を克服するため、寒さに強く食味も優れた「銘柄米」を開発し、産地ブランド化による差別化を図った。	東北地方の太平洋側では、夏に「やませ」と呼ばれる冷涼な北東風が吹くことで、気温が上がらず作物が育たない冷害が度々発生してきました。これに対し、農業試験場などで寒さに強い品種の研究が進められた結果、「コシヒカリ」や「ひとめぼれ」のように味も良く寒さにも強い品種が誕生しました。これらは「銘柄米」としてブランド化され、市場価値を高めることで地域農業の安定と発展に寄与しています。